

しんぱいなことがあります！

工藤純子／作 吉田尚令／絵 金の星社



1年生のももは、忘れ物が心配なので毎日、教科書やノートをぜんぶランドセルにぎゅうぎゅうにつめこみます。そんなもののことを「やどかりみたい」とからかう友だちのかずまくん。かずまくんのランドセルはとてものかるそうです。かずまくんは心配じゃないのかな。ももはふしぎでたまりません。

バスが来ましたよ

由美村嬉々／文 松本春野／絵 アリス館



病気で目が見えなくなってしまう男性は、バスに乗って仕事にいていましたが、うまくバスに乗れるかいつも不安でした。そんなある日、男性の腰に小さな手がふれ「バスがきましたよ」という声をききます。少女の小さな手からはじまった心あたまる実話絵本。

♪“うちどく”ノートにきろくしciao♪

学校の本も、図書館の本も、おうちにある本も、読んだら“うちどく”ノートにきろくしよう。

本を読んだ日や、本のタイトルを書いておくと、あとからもう一度読みたくなった時や、おうちの人や友だちに紹介したい時に役に立つよ！

一年間でどのくらいきろくできるかチャレンジ！

“うちどく”ノートは中央図書館でもらえるよ。
カウンターに声をかけてね。

村上市の図書館(室)案内

図書館

■中央図書館

村上市田端町4-25 TEL53-7511(代)

■朝日図書館

村上市岩沢5668 TEL72-6700(代)

図書室

■荒川図書室

村上市羽ヶ榎104-25 TEL62-3050(代)

■神林図書室

村上市岩船駅前63 TEL60-1500(代)

■山北図書室

村上市府屋177-1 TEL77-3798(代)

いい本みつけた 2023

小学1・2年生むけ



村上市立中央図書館

しりとり電車のハヤイチくん

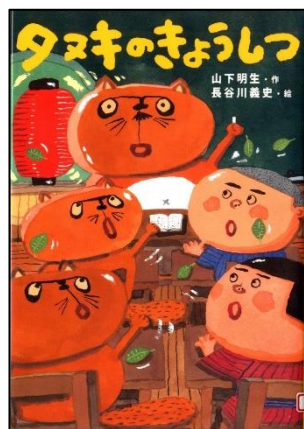
別司芳子／作 しんやゆう子／絵 文研出版



「電車しりとり」が大好きなハヤイチくんは、みんなと話すときもしりとりで話します。隣の席のさくらは、授業中も給食の時間もしりとりをしているハヤイチくんが苦手。楽しみにしていた遠足の日もハヤイチくんのしりとりのせいでいろいろな事件がおきて……。

タヌキのきょうしつ

山下明生／作 長谷川義史／絵 あかね書房



すこしむかし、広島県の小学校にタヌキの一家が住んでいました。タヌキのお父さんは、タヌキにも勉強が必要だといって、夜の教室をかりてこっそりと子ダヌキたちに勉強を教えていました。ところがある夜、教室のあかりに気づいた教頭先生が教室をのぞいてしまい……。

本屋のミミ、おでかけする！

森環／作 あかね書房



お客さんが探していることにピッタリあう本を見つけるのが得意なミミは、おでかけが大の苦手。ある日、なかよしの絵描きさんからケガをして、しばらく本屋にはいけないという手紙が届きます。心配したミミは勇気を出して、お見舞いに行くことにします。

けんかのたね

ラッセル・ホーバン／作 小宮由／訳 大野八生／絵 岩波書店



ある日、お父さんがくたきたになって家へかえると、家の中は大さわぎ！いぬはねこを追いかけて、4人のきょうだいたちは大ゲンカ。理由をきいても子どもたちは「わたしはわるくない」「ぼくのせいじゃない」というばかり。大ゲンカのはじまりはいったいなんでしょう。

やまの動物病院

なががわちひろ／作・絵 徳間書店



山のふもとでやっている「まちの動物病院」は、夜になると「やまの動物病院」にかかります。夜、動物たちのケガや病気をなおしているのは、動物病院の先生とくらしているねこのとらまるです。キツネやリス、カッコウなどいろいろな動物がとらまるのもとにやってきます。

みんなとおなじくできないよ

湯浅正太／作 石井聖岳／絵 日本図書センター



ボクの弟はちょっとヘン。じたばた走って転ぶし、おしゃべりはつかえるし、文字はグニャグニャ。弟のことは大好きだけど、ボクは時々はずかしくなったりします。でもある日、弟が言った言葉を聞いてボクは、弟のことをもっとわかりたいと思います。